

「浜益国民健康保険診療所の新たな診療方針について」に寄せられた意見と検討結果

【パブリックコメント実施期間】 令和5年10月1日（日）から令和5年10月31日（火）まで

【担当部局】 石狩市浜益国民健康保険診療所

【意見提出者】 203人

【意見件数】 13件

【意見への対応】	採 用	： 意見に基づき原案を修正するもの	0件
	一部採用	： 意見に基づき原案を一部修正するもの	0件
	不 採 用	： 意見を原案に反映しないもの	1件
	記 載 済	： 既に原案に盛り込まれているもの	0件
	参 考	： 原案に盛り込めないが今後参考とするもの	0件
	そ の 他	： ご質問・ご意見として伺うもの	12件

【意見の検討経過】 令和5年11月1日～11月27日 当課及び関係部局において意見の検討及び検討結果（案）の作成
令和5年11月30日 広聴・市民生活課に合議のうえ、市長決裁にて最終決定

「浜益国民健康保険診療所の新たな診療方針について」に寄せられた意見と検討結果

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
1	<p>診療所夜間診療廃止は断固反対します。石狩市は浜益区民の実情を親身になって考えて下さい。</p> <p>夜間診療及び病床の廃止は地域住民の命に掛かる問題です。行政の都合に依る一方的な廃止は反対します。夜中急病人発生して応急処置も出来ずに助かるものも助からなくなり、万が一の事があった場合市の担当者は全責任を執る旨明記して下さい。</p>	その他	<p>「新たな診療方針」は、浜益区における医療を継続するために実施しようとするものであることをご理解願います。</p> <p>なお、「新たな診療方針」は石狩市として検討しているものです。</p>
2	<p>区民の命を守るため、今の診療体制を変えるのは反対。今のままで続けてほしい。</p> <p>夜間診療と入院ベッドは絶対必要である。</p> <p>今後医師2人体制でやっていけないでしょうか (同種の意見：153件)</p> <p>《主な理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間、早朝に具合が悪くなったときに心配なため ・体調が悪くなるのは夜や朝早くに多いため ・浜益には高齢者が多いため <p>※その他夜間診療と病床の必要性に関する意見（別紙）</p>	その他	<p>現在の医療は専門性が高く、急病人が発生した場合、応急処置が出来ないにも関わらず、診療所で診察することにより、専門病院での診察が遅れるということから、直接、区外の専門病院に搬送されるという実態となっております。</p> <p>また、説明会資料にもあるとおり、夜間の外来患者数は年間37件で10日に1件の割合となっており、昼間も含め、この診療状況（患者数等）で医師2名の確保は、現実的に難しいものと考えております。</p> <p>訪問看護により、看護師が定期的な状態確認をすることで、医師による的確な診察の機会を確保し、重症化を防ぐという在宅医療を行って参ります。</p> <p>以上、今後も浜益国民健康保険診療所を継続していくための、「新たな診療方針」にご理解をお願いします。</p>

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
3	<p>今のまま続けて下さい。変えるのは反対。</p> <p>1人暮らしで診療と入院ベッドがなければいなかで1時間も2時間もかけてとほうにくれます。急患になればどうということになるか今から心酸です。</p> <p>歯科も必要です。助けてください。</p>	その他	<p>現在の医療は専門性が高く、急病人が発生した場合、応急処置が出来ないにも関わらず、診療所で診察することにより、専門病院での診察が遅れるということから、直接、区外の専門病院に搬送されるという実態となっております。救急の場合には現在と同様に救急車を要請していただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、歯科医院については今回のパブリックコメントの対象ではないことを申し添えます。</p>
4	<p>反対です。</p> <p>(同意見：18件)</p>	不採用	<p>今回の「新たな診療方針」は、浜益区における医療を継続するために実施しようとするものです。今後も浜益国民健康保険診療所を継続していくための、「新たな診療方針」にご理解をお願いします。</p>
5	<p>特に高齢化が進んでいる浜益に於いて、現在の医療体制は必要で有ると思っている。高齢者で有っても車が出る人もおりますが、とっさの時に、あれこれ考えて行動するにしても時間がかかり身体的にも苦痛が共なうものです。</p> <p>この様な事を考えると地元には診療所が有ると、それだけで安心して暮らせると言うものです。何が何でも変えなければならぬ理由はなんで有ろうか。今度のコロナの件にもずい分左右されたのではないかと思う私ですが、医療従事者に於いては、大変な事だったと思ってお</p>	その他	<p>今回の「新たな診療方針」は、浜益区における医療を継続するために実施しようとするものです。今後も浜益国民健康保険診療所を継続していくための、「新たな診療方針」にご理解をお願いします。</p>

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	ります。でも皆同じ立場だとは限りません。私達の置かれている現状を良く把握してほしいものだと強く思っております。		
6	<p>新たな診療方針について反対です。</p> <p>医師の働き方改革による方針ということもわかります。</p> <p>現在の夜間診療と入院ベッドが浜益区民にどれだけ安心を与えているのかを考えてください。</p> <p>新しい方針では安心して浜益に住み続けることは難しくなります。住みなれた土地を出ていくことになり、最終的には診療所もなくなってしまうのではないかと考えてしまいます。</p> <p>浜益区民が、安心して住み続けられるようにもっと知恵をしぼってほしいと思います。</p>	その他	<p>今後も安心して浜益に住み続けていただくため、浜益区における医療を継続することを主眼として見直しをするものです。</p> <p>今後も浜益国民健康保険診療所を継続していくため、「新たな診療方針」にご理解をお願いします。</p>
7	<p>今回の住民説明に参加して、どうして石狩の行政は浜益の住民をいじめるのかと腹立しく感じました。</p> <p>浜益のひとりひとりの命をどう考えているのでしょうか？夜間診療が無くなれば助かる命も助からなくなってしまいます。石狩行政は“お前たちは死ね!!”と言っているのと同じだと感じました。</p> <p>市民の命や困っていることを助けるのが行政ではありませんか？</p>	その他	<p>今回の「新たな診療方針」は、浜益区における医療を継続するために実施しようとするものです。</p> <p>緊急の場合は現在と同様に救急車を要請していただきたいと思います。</p> <p>今後も浜益国民健康保険診療所を継続していくため、「新たな診療方針」にご理解をお願いします。</p>

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	私は行政に言います「夜間診療廃止は絶対反対!!」「入院ベッド廃止は絶対しない!!」		
8	<p>70歳を過ぎるまであまり病院とは縁が薄かった私です。病院に行くということは漆に負けたりスズメバチに刺されたとき位だったのですが、11ヶ月前、登山中に平たいやや斜めになった石の上でうっすら雪が積もりそこで滑りかけて左側に崩れかけた身体を左腕で支えようとした時に、左腕の付け根から“ゴキゴキッ”と鈍い音がした瞬間、腕が食い込んだのか骨が折れたのか分からない感覚をあげ、痛みをこらえ、国保診療所で検査を受けたところ、左腕の肩の腱の断絶と判りました。</p> <p>幾つかの病院で診察を受け、また腕の断絶経験のある方からの助言なども聞き、私なりに最良と思われる病院を選択しました。あるとある病院で手術を含め1週間入院をしました。その後は、8月まで8回のリハビリ通院をしましたが、初めての入院・通院でした。</p> <p>この経験を境として病院の有難さ必要性を深く感じた次第です。</p> <p>私の場合は昼間の事故だったのですが、いつ何時、突発的な痛みを感じた時・事故に遭遇し大怪我をした時などを考えると夜間診療がなくなることになれば高齢者の割合が多い浜益地区にあっては大いなる心配事にな</p>	その他	<p>今回の「新たな診療方針」は、浜益区における医療を継続するために実施しようとするものです。</p> <p>緊急の場合は現在と同様に救急車を要請していただきたいと思います。</p>

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	<p>と思われます。</p> <p>浜益の病院は明治5年9月開拓使が茂生に病院を建てたのが始まりです。建坪は19坪の建物で患者の診療を行っていたようです。患者が増えることで手狭になり、人口の増加に伴い、明治29年に新築されたのが浜益病院です。人口の増加もあり個人経営の病院も開院されたとあります。</p> <p>昭和にはいり浜益国民健康保険組合が設立され、保健婦2名による巡回健康相談、妊産婦、乳幼児診断などの保健衛生の強化にも務めています。戦後、昭和28年、浜益村国民健康保険病院となりますが、10年を過ぎた昭和39年2月12日の朝7時頃、宿直室から出火、全焼しますが犠牲者はなかったといえます。</p> <p>のちの浜益村国民健康保診療所（浜益村国保診療所）、浜益国民健康保険診療所へと名称は移り変わります。</p> <p>しかし、浜益地区では病院から診療所と呼称は変わりましたが、そのことが地域の方々の安心と安寧が保たれ、いつ何時、何があっても健康な暮らしのできる地域と思っています。それこそが、この地域に住んでいられる最小限の喜びでもあります。</p>		
9	<p>1 「医師の働き方改革」の認識について</p> <p>浜益国保診療所の医師は管理・監督する所長職であ</p>	その他	<p>医師への働き方改革関連法の適用は、法適用になる医師だけでなく、医師全般の働き方の改革を目的としたものであるもの</p>

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	<p>り、そのため高い報酬等で処遇しており、当該改革の対象外です。さらに勤務待機時間（毎週5日間120時間連続）となっているが、自宅待機は拘束時間（労働時間）にはなりません。判例では場所的拘束（宿直など）がある場合は拘束時間と定義づけています。現に北海道の過疎地の1人医師診療所は少なからずありますが、働き方改革は話題にもなっていないと聞いています。よって、医師の働き方改革を前面に掲げての新たな診療方針は住民に大きな誤解を招きます。住民説明会は正しい情報に沿って行うべきであり、新たな診療方針にあくまで固執するなら、やり直すべきです。</p> <p>2 住民説明会で出された意見について</p> <p>区内5カ所で行われた住民説明会には区民の1割が参加しており、関心の高さを示しました。どこの会場でも夜間診療や入院ベッドをなくすことに不安と批判の声が寄せられたと聞いています。また、参加しなかった住民も含め住民意識の丁寧な検証と対応が必要ではないでしょうか。参加者からは「住民意見は聞きっぱなしの単なる儀式ではないか」「住民生活にかかわる政策でも方針を決定すれば行政は突き進んでします。どうして余裕と深みがないのか」このような意見を耳にしています。「住民自治」とは何かが問われていると考えます。</p>		<p>と認識しております。</p> <p>浜益区における医療を今後も継続させるためには、医師の勤務状況の改善は必要なことと考えており、今後も浜益国民健康保険診療所を継続していくための、「新たな診療方針」にご理解をお願いします。</p>

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	<p>3 浜益区だからこそ必要不可欠な夜間診療と入院ベッド</p> <p>高齢化人口が50%以上にもなっているなかで、住民の日頃の病気治療等は札幌や滝川等のかかりつけ病院に入院・通院して行っています。しかし、いざ夜間（時間外）に病状が心配になったときに医師に診てもらえる安心感が住み続けられる大事な要素になっています。子ども急な病気や怪我の場合も然りです。現に、昨年度一年間で問い合わせや夜間診療受診は170件にもなっています。区民の健康と命の砦、浜益国保診療所の存在はここにこそあります。道路が整備されても他都市との距離は変わりません。その意味で浜益区は現在も「陸の孤島」と言えます。都会の病院まで時間にして1時間半から2時間、この距離を埋めることは決してできません。だからこそ長い歴史のなかで浜益国保診療所の果たしてきた役割を、どれほど区民目線で検証されたのか甚だ疑問です。</p> <p>4 医師との普段からの意思疎通と行政の支援</p> <p>今回「新たな診療方針」を区民に示す前に、入院ベッドが必要になったときに福祉施設のショートステイを使えないか打診したと聞いています。医療と福祉を混同した無知さに呆れるばかりです。これは個人攻撃ではな</p>		

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	<p>く、そのような水準で「新たな診療方針」の計画立案の責任を負えるのかということです。診療所の医師は1人で区民の命を預かっている立場にあることから陰に陽にプレッシャーを感じながら職務に努力されているものと思います。孤独感も一入でしょう。モチベーションを維持する上で行政職員のサポートは欠かせません。北海道は広大であり、へき地の医療は様々な困難を抱えながら多様な制度の活用など政策力で地域医療に取り組んでいる自治体もあり、縮小先にありきはあまりにも無策です。10月13日のNHKアナザーストリーズ、医療とは何か～永遠のテーマであり医師の資格を持つ手塚治虫のブラックジャックの漫画も紹介しながら「医は仁術」との言葉に特別な重みを感じさせられました。区民に「新たな診療方針」をたった一回の説明会しかも施行が半年後と期限が迫った開催日程でありました。区民にとっていざという時に命に関わり、この地域で生きていく最も重要な医療体制をどうするか徹底した意見聴取や議論が必要なテーマであります。あまりにも拙速過ぎます。</p> <p>以上、今回の診療所医療縮小案には1～4の理由により白紙撤回を求めます。</p>		
10	財政や人員の問題で業務の縮小は仕方ない事なのか	その他	現在の医療は専門性が高く、急病人が発生した場合、応急処

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	<p>もしれないが、夜間の急病は年齢に関係なく不安なものであり、一人暮らしの高齢者となればその不安はより大きいと思う。「#7119」への相談も高齢者にはハードルが高いのではないかとと思われるので、石狩市や浜益区独自で相談できたり、医療機関へ繋いでもらえる様なシステムは作れないのか？</p> <p>医師や看護師の方のみが無理を強いられる事は絶対にあってはならないが、もう少し高齢者に優しく寄り添った診療方針であって欲しいと思う。</p>		<p>置が出来ないにも関わらず、診療所で診察することにより、専門病院での診察が遅れるということから、直接、区外の専門病院に搬送されるという実態となっております。</p> <p>訪問看護により、看護師が定期的な状態確認をすることで、医師による的確な診察の機会を確保し、重症化を防ぐという在宅医療は浜益区にふさわしい診療方針だと考えております。</p>
11	<p>医療サービス変更による懸念、高齢の方でも診療所の利用頻度が少ない方（今現在元気な方）への周知はどうするか。広報紙に毎月掲載らしいが、見ない人は？</p> <p>16時以降の緊急患者の受け入れ無しは、命の選択でしかないように感じる、初期症状で助かる命も浜益に住んでいては、近くの医療機関まで時間がかかり手遅れになるのではないかと心配になる。消防の救命救急士では限界があるのでは？</p> <p>病床廃止により医師やケアマネージャーといろいろな選択肢を見つけておきませんかと言うが、訪問看護の利用者が増えることによる看護師の負担増加を将来的にどう考えているのか？訪問看護の利用方法の周知の心配。訪問看護の利用料金の心配。</p>	その他	<p>今回の「新たな診療方針」は、浜益地域における医療を継続するために実施しようとするものです。</p> <p>緊急の場合は現在と同様に救急車を要請していただきたいと思えます。</p>

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	なぜそれほどいそいでやるわからない。		
12	<p>過疎地に在住する住民にとっては診療所の新たな診療方針問題は、地域にとって生命維持のための必要不可欠な公共インフラと考えます。特に高齢者にとっては不安の何物でもない。市より唐突に示された見直し内容は、なるほどと思わせる個所もあるがこの方針の実施については、時間外に体調不良の際、浜益支所から石狩市内病院まで 60Km 自家用車で1時間以上もかかり自家用車のない高齢者住民には不便と不安を強いています。よく厚田区のクリニックと比較しますが 30Km、30 分の違いは大きく比較には無理があります。遠くない将来、診療所廃止につながるのではないかと危惧する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院者数の少ない病床の見直しは許容範囲 ・訪問看護が将来的にも持続可能であるのであれば良いと思います。 <p><見直しの改善></p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療時間が問題であり下記のように見直しを提案します。少しでも不安解消になる。 <p>平日、土日曜日、祝日⇒9時～16時を 21 時</p>	その他	<p>今回の「新たな診療方針」は、浜益区における医療を継続するために実施しようとするものです。</p> <p>令和6年4月から看護師による訪問看護事業を進めて参ります。</p> <p>なお、診療時間を 21 時まで延長することについては、医師の勤務状況の改善につながらず実施は難しいものと考えております。</p>
13	<p>○浜益地区では高齢化が進む中、診療所の緊急外来と入院ベッドの廃止はありえない</p> <p>○むしろ新築の診療所を建ててもらいたい</p>	その他	<p>今回の「新たな診療方針」は、浜益区における医療を継続するために実施しようとするものです。</p> <p>診療所の施設の老朽化につきましては今後の大きな課題と</p>

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
	○歯医者も復活してほしい		認識しております。 なお、歯科医院については今回のパブリックコメントの対象ではないことを申し添えます。

(別紙)夜間診療と病床の必要性に関する意見

(必要性について)

- ・子どもがおり、身近で一番頼れるのは診療所。特に冬場の夜間診療は必要。
- ・今年も漁船での死亡事故が有り、事故は早朝や夕方におきる事が多い。
- ・夜に何度も点滴をうけている。
- ・いつも診療所を利用している。
- ・自分の事を考えても、もしもの時とか考えるとどうしていいのかと不安になる。
- ・救急車が複数必要になった場合は厚田から出動するとの住民説明会での回答があったが、時間的に最低でも30～40分程度必要となる。救える命も救えなくなるのではないか。
- ・住民説明会に参加したが納得いかなかった。
- ・1人暮しで近くに子供もいないし頼る人もいない。
- ・診療所の時間が短くなると不安が残る。
- ・妻が深夜になると狭心症の発作が起き、診療所にお世話になっている。
- ・区民の生活や命を守るため、臨時の医師派遣を強化するなどし、今の診療体制を変えないでほしい。
- ・「急な病になったら死ぬしかない」と地域で声が上がっている。安心してくらすことの出来る医療が必要。
- ・診療所は浜益の人々の命のよりどころ、変えないで下さい。
- ・これまで何回か夜間診療を受け大変助かった。
- ・高齢者施設があり、急変時など心配なので夜間診療は無くさないで下さい。
- ・浜益には高齢者も多く、夜間診療がなくなるのは困る。
- ・入院ベッドと夜間診療をなくしたら浜益の診療所の意味がなくなる。
- ・入院したことがあり、診療所があって良かったと思ったことがあった。
- ・夜間診療と病床がなくなれば、この先どうなるのか心配。
- ・外国人実習生を抱えているため、身近な診療と救急時の安心の為、夜間受付をつづけてほしい。

- ・以前に夜間妻がじん麻疹の診療を受けて助かりました。
- ・住民説明会に出席し、そこで心配する声がたくさんでいました。それに対し市は検討する余地があると回答していました。その時間もとらず原案でのパブリックコメントは理解できません。
- ・住民説明会は何の為にいったのでしょうか。浜益の人々はみんな心配しています。
- ・診療所での短い入院はこれからも必要ではないか。
- ・主人が喘息なので夜間診療が無いとこまります。
- ・一方的に決めるのではなく、お互いが納得、安心できる方法を探してください。
- ・数年前から足が悪くどこに行くのも1人でいけない。その上近くの病院がなくなれば浜益で生活が出来ません。長年暮した所を離れる訳にいけません。
- ・高齢者が多く最悪の事を考えた場合に今の体制は必要。
- ・今年の7月下旬、脳疾患で診療所にて一泊の入院治療を受けた。私の体験からも夜間診療と入院ベッドはこれからも必要です。
- ・特に冬は猛吹雪時など最悪となりますので、医師の確保が必要と思う。
- ・将来診療所の閉鎖の前段階でないかと憶測するところです。閉鎖は将来絶対に無い旨を地域住民に対して宣言して約束して下さい。
- ・今まで夜間救急診療のお世話になった事あったが、先生が居ないと不安。救急車でも札幌又は石狩まで1時間以上かかってしまう。病床廃止で訪問看護に力を入れるという事であるが、本当に大丈夫か。浜益診療所の看護師や先生の意見も聞いてください。
- ・夜間診療と入院ベッドを廃止にしたいのなら、それに替わるものが納得できる案として浜益の住民に説明してほしい。
- ・医師に浜益で働きたい!!と思ってもらえる環境や条件にすれば気持ちよく居てくれるのではないのでしょうか？それを石狩市が考えていくのが大切だと思います。
- ・小さな孫や年老いた父母も診療所を頼りにしています。命にかかわる事です。お金の問題ではありません。
- ・いつ具合が悪くなったりケガをするのか分かりません。救急車を呼ぶほどではない場合、家で我慢して待つことになり心配です。
- ・夜間診療と入院ベッドはお年寄りや小さな幼児さんたちのため、絶対必要。
- ・住民説明会では市の説明に対し反対の意見がたくさん出たようだが、それに対し検討することもあると言っていたことはどうしたのか。

- ・ 財政面（予算）収支のバランス悪くとも市民生活に必須のものは施設運営に徹すべきものなり
- ・ 浜益で急患が出てても応急措置ができないのは命にかかわることだと思います。
- ・ 夜に体調が悪くなったらどうすればよいか。救急車はあるがその夜に大吹雪が続いたり、又町の病院へ送られても行来にこまります。
- ・ 浜益は高齢者が多く、独居が多い中、具合が悪くちょっと見てほしい時などとても不安に思います。
- ・ 休日、夜間などに救急車に頼んでいいのか。
- ・ 時間外には浜益の診療所で見てもらい場合によっては入院できる、このことが住民の安心になっており命を守っている
- ・ 夜間、体調が悪くなっても救急車を利用するしかないのか、又具合がわるくてもがまんしかなくなるのか、と不安です。
- ・ 浜益区は高齢者が多く、いつ救急事態が起こるか判かりません。救急車で搬送されても1時間以上かかります。石狩市民として不公平な事があってはいけません。行政として市民の安心、安全の為に全力で関係する所に全力で当って欲しいです。
- ・ 高齢化が進んでいくなか、夜間にちょっとした急病になった場合非常に不安です。今後医師の2人体制でやっていけないでしょうか。
- ・ 夜間診療と入院ベッドがなくなれば浜益国保診療所の意味がなくなる。わずか半年で地域の人の命にかかわる事を決めてしまっているのか。夜間診療が有る事が浜益の人々の安心の一番の問題と考える。
- ・ 急なじんましんや腹痛、めまいなどの場合、点滴等が必要になると思います。お医者さんの言葉を聞いて安心する場合があります。
- ・ 高齢者が多く、入院ベッドがある事で本人も家族も安心する事ができます。夜間診療もこの地域にはなくてはならないと思います。
- ・ 浜益から札幌、滝川迄行くのに相当な時間がかかる。夜間に緊急受診を必要とした時に診てもらえる診療所が無いのは不安でしかない。